

第 2 学年 3 組 算数科学習指導案

日 時	6 月 7 日（金）第 5 校時	授業者	（ぐんぐん）	場 所	2 年 3 組教室
単 元 名	2 けたのひき算				
児 童 の 実 態	前単元でたし算の筆算を学び、筆算の手順についてはほぼ全員が理解している。また、ブロックを使って位を意識して表すことも繰り返し行ってきた。しかし、自分の考え方を筋道立てて説明できる子が少ない。また、くり下げたことを忘れて計算をしてしまう児童もいる。				
研究内容について	2 -	ブロックやひっ算、式を使って、順序よく説明することができるようにする。			
	3 -	順序を表す言葉や、「一の位」「十の位」という言葉を使って自分の考えたことを筋道立てて説明をしたり、仲間の意見に関わって話したりすることができるようにする。			
本 時 の ね ら い	十の位からくり下がる 2 位数 - 1 位数の計算原理や方法を理解し、筆算で計算できる。				
人 権 教 育 の 観 点	各々の考え方を認め合い、温かい雰囲気の中で学習することは、相手への共感的理解を深めることにつながる。（自己啓発力）				

本時の展開 (2 / 6)

時間	過程	ねらい	学習活動	指導・援助 評価規準
0	つかむ	問題の内容をとらえることができる。 本時の課題をつかみ、見通しをもつことができる。	1. 問題場面をつかむ。 5 6 まいのおり紙がありました。そのうちの 7 まいをつかいました。のこりは何まいでしょう。 ・ 式は、$56 - 7$ 2. 課題をつかむ。 $56 - 7$ の計算のしかたを考えよう。 ・ ブロックで考える。 ・ 式で考える。	・ 問題場面と式の確認をする。
7 17	考えをもつ 深める	既習の学習が使えるように、10 のまとまりと 1 のまとまりに分けて考えればよいことに気付くことができる。	3. 自分の考えをもつ。 ・ <ブロックで> ・ <式で> 56 を 40 と 16 にわけて、 $16 - 7 = 9$ $9 + 40 = 49$ 一のくらの $6 - 7$ は計算できない。まず 56 を 40 と 16 にわけて、 16 から 7 をひく。その答えにのこりの 40 をたす。 答え 49 まい 4. 全体交流をする。 ・ 6 から 7 はひけないので、十のくらいから 1 くり下げて計算すれば、今までと同じように計算できる。 ・ 正しい筆算の書き方とくり下がりを教える。 5. まとめる。 十のくらいから 1 くり下げて計算すればよい。	・ 前時と同じように、10 のまとまりと 1 のまとまりに分けて考えればよいことに気づかせる。 ・ ブロックを操作して考えさせる。 ・ 「ひくことができなかったら、どうするのか」と 1 年生で学習したくり下がりのひき算を思い出させる。 ・ 「○○さんと同じで～」 「○○さんにつけたしで～」 など仲間の考えにつなげて発言するように助言する。 ・ 前時の学習を確認しながらひっ算の書き方を指導する。 位をそろえて書く。 一の位の計算ができないので、十のくらいから 1 くり下げる。 十のくらいは残っている 4 をそのまま書く。
32 35	確かにする	練習問題で、本時の学習の理解を深める。	6. 練習問題に取り組む。 P 33 鉛筆問題	・ 練習問題ができたなら、補充問題に取り組む。 一の位から引けないとき、十の位からくり下げる方法を図をもとに考える。 ＜数学的な考え方＞

4. ひき算のしかたを考えよう 「2けたのひき算」 (全7時間) 単元指導計画

小	時	本時のねらい	主 な 学 習 活 動	評 価 規 準
2 けたのひき算	1 イ	・繰り下がりのない2位数－2位数の計算の仕方が分かり、筆算で計算することができる。	1．問題をつかむ。 めぐみさんは、おりがみを56まいもっています。20まいつかうと何まいのこるでしょう。 2．めあてをつかむ。 (何十何)－(何十)の計算のしかたを考えよう。 3．自分の考えをもつ。 ・ つかったのこりを求めるのだから、ひき算でいいね。 4．仲間と考えを話し合う。 ・ 一の位どうし十の位どうしひき算をする。一の位は6。十の位を計算します。10のまとまりが5つと2つなので。 $5 - 2 = 3$。だから36になる。 5．問題(2)に取り組む。(56－24) 6．まとめる。 (何十何)－(何十何)の計算は、くらいごとに一のくらいから、じゅんに計算していけばできる。 7．振り返る。	<数学的な考え方> 既習の1位数同士の減法の計算をもとに計算方法を考えている。 <表現・処理> 2位数までの繰り下がりがない計算原理や筆算の方法が分かる。
	2 イ	・繰り下がりのある2位数－1位数の減法の計算原理が分かり、筆算で計算することができる。	1．問題をつかむ。 56まいのおりが紙がありました。そのうちの7まいをつかりました。のこりは何まいでしょう。 2．めあてをつかむ。 56－7の計算のしかたを考えよう。 3．自分の考えをもつ。 ・ 一の位同士は引くことができないので、十の位からかりてくれればできるのではないかな。 4．仲間と考えを話し合う。 ・ はじめに、一の位の計算をします。一の位は引けないので、十の位の5から、10のまとまりを一つかりてきます。 $16 - 7 = 9$です。つぎに... 5．まとめる。 十のくらいから1くり下げて計算すればよい。 6．確かめる。 練習問題をやる。 7．振り返る。	<数学的な考え方> 一の位から引けないうち、十の位から繰り下げの方法を図をもとに考える。 <知識・理解> 十の位からくり下げる場合の筆算の仕方が分かる。

2けたのひき算	3 ア	・くり下がりのある2位数 - 2位数の減法を筆算で計算することに習熟し、正確に計算することができる。	1. 問題をつかむ。 $56 - 27$ を計算しましょう。 2. めあてをつかむ。 (何十何) - (何十何)で、くり下がりがある計算のしかたを考えよう。 3. 自分の考えをもつ。 ・6から7の引き算はできないので、十の位の5から1くり下げればできるのではないかな。 4. 仲間と考えを話し合う。 ・はじめに、一ののりの計算をします。一ののりは0と3だから、十の位から1くり下げて、 $10 - 3 = 7$ 。 5. 練習問題をする。 6. まとめる。 (何十何) - (何十何)で、くり下がりがあるときも、1くり下げてのりいことにひけばよい。 7. 振り返る。	<技能> 十の位から繰り下がるいろいろな減法を、筆算で正確に計算することができる。
たし算とひき算のかんけい	4 イ	・加法と減法の相互関係から、差 + 減数 = 被減数の関係が成り立つことを理解し、それを活用して減法の計算の確かめができる。	1. 問題をつかむ。 教室に24人いました。9人が外へあそびに行きました。教室にのこっている人は何人でしょう。 2. めあてをつかむ。 ひき算のこたえのたしかめかたを考えよう。 3. 自分の考えをもつ。 ・ $24 - 9 = 15$ と $15 + 9 = 24$ は、同じ数で計算が行われていることに気づく。 4. 「ひかれる数」「ひく数」の用語を知る。 ・ひき算の答えにひく数をたすとひかれる数になっていることを確認する。 5. まとめる。 ひき算の答えにひく数をたすと、ひかれる数になります。 6. 確かめる。練習問題をする。 7. 振り返る。	<技能> 加法と減法の交互関係を活用して、減法の計算の確かめができる。 <知識・理解> 減法では、「差 + 減数 = 被減数」の関係が成り立つことが分かる。
れんしゅう	5 ア	・習熟問題に取り組み、2位数までのくり下がりのある減法の計算を、筆算で正しく計算をすることができる。	習熟問題に取り組む。 評価問題に取り組む、単元の振り返りを行う。	<技能> 2位数までのくり下がりのある減法の計算を、筆算で正しく計算することができる。
小 時	本時のねらい	主 な 学 習 活 動		評 価 規 準

やってみよう(6)の数字でひき算をつくろう	6 イ	・カードを並べて、たし算とひき算の筆算の理解を深めることができる。	1. 問題をつかむ。 ・ 6枚のカードを1回ずつ使うことを知る。 2. めあてをつかむ。 カードを当てはめて、たし算やひき算のひっさんを正しく作ろう。 3. 自分の考えをもつ。 ・ カードを当てはめたり、筆算が成り立つかどうか判断したりする。 4. 仲間と考えを話し合う。 ・ どうして、そのカードを選んだのか理由を言って、話し合う。 5. まとめる。 ひき算のひっさんは、答えとひく数をたすとひかれる数になることをもとに、足し算と同じように考えても良い。 6. 確かめる。 7. 振り返る。	<数学的な考え方> どうして、その数が当てはまるのか理由を考えながら、筆算を正しく作ることができる。
------------------------------	----------------	--	--	--

時 (まとめの言葉)	ぐんぐんコース	
	じっくりコース	
1 (何十何)-(何十何)の計算は、 くらいごとに一の くらいから、じゅ んに計算していけ ばできる。	P 2 8・2 9・3 0 1 (1) 43-30 (2) 58-13 (3) 63-21 (4) 75-62 (5) 49-29 (6) 86-5	算数の練習 P 1 9 れんしゅう 1・2
2 十のくらいから 1 くり下げて計算 すればよい。上の くらいの 1 を下の くらいにうつして 10 にすることを、 くり下げるとい う。	P 3 1・3 2・3 3 2 (1) 61-5 (2) 93-8 (3) 50-6 (4) 80-4	算数の練習 P 2 0 れんしゅう 1・2 □教科書 P 1 0 2 鉛筆問題 1
3 (何十何)-(何十何)で、くり下 がりがあるとき も、1 くり下げて くらいごとにひけ ばよい。	P 3 3・3 4 3 (1) 72-15 (2) 73-24 (3) 54-45 (4) 63-57 (5) 90-65 (6) 70-33	算数の練習 P 2 1 れんしゅう 1・2 □教科書 P 1 0 2 鉛筆問題 2
4 一の位が 0 のと きでも、十の位か ら 1 くり下げて、 じゅんばんに計算 すればよい。答え の十の位が 0 にな るときは、書かず にあけておく。	P 3 4・3 5 1 せいさん 計算をして、答えの たしかめも しましょう。 (1) 75-23 (2) 84-67 (3) 53-9 (4) 60-33	算数の練習 P 2 2 れんしゅう 1 □教科書 P 1 0 2 鉛筆問題 3